

事象を情報とその結び付きの観点から捉え、情報及び技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力を育成する。

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立伊丹高等学校 進藤 健裕

<p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した文章を自身の価値観と比較検討し、批判的な読解を展開する。 ・考察した内容をプレゼンテーション資料にまとめ、自身の考えをクラスメートに伝えることができる。 ・他者の意見を取り入れ、レポートにまとめることができる。 	<p>校種・学年</p> <p>高等学校・1 年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>国語科</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート ・Power Point
	<p>備考</p>

○本時の展開


	<p>○学習活動（◆指導上の留意点）</p>
<p>導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○前時まで学習した文章の内容及び筆者の主張を確認する。 ○自身の価値観を補完もしくは批判的に扱う二次資料として教科書の文章を再読解する。 ◆前回までの授業スライドや班で提出した考えを参照させる。
<p>展開</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>考えを編集し、他者に伝達する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○個別もしくはグループで学習に取り組む。 ◆教室前方を教師との対話スペース、中間から後方を協働グループ、個人学習に分類し、必要に応じて学習する場所を選択できるようにする。
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グループに分かれ、作成した資料をもとに発表を行う。 ○質疑応答を通じて自身の考えを深め、考察した内容をレポート（紙もしくは Word）にまとめて提出。 ◆作成した資料から変化した内容を踏まえてレポートを作成させる。

育成できる情報活用能力

- ◎クラウド上に保存されているこれまでの授業スライドや成果物を参照し、自身の学びを俯瞰的に（メタ認知）振り返ることができる。

育成できる情報活用能力

- ◎対話を通じてプレゼンテーション資料を作成することで、発信のための必要な情報を収集・編集することができる。
- ◎他者の編集した資料を授業内だけでなく、授業後にクラウド上で閲覧することで、自身の考えをより深化させることができる。



生徒の感想

- ・教科書の内容を自分の言葉や価値観でスライドに編集することで、理解を深めることができた。
- ・いろいろな視点から文章について考え、再編集したうえで発信することが難しかったが、文章の内容に対して納得感が高まった。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・前回までの資料をクラウド上で参照できるため、学びを繰り返すことができ、学力の定着とメタ認知の育成を図ることができる。
- ・効果的なプレゼンテーション資料の作成を他者から学ぶことで、編集・発信能力が醸成される。

古典作品を読んで4コマ漫画風のスライドを作成し、発表する

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立小野高等学校 宇野 浩


本時の目標 ・源氏物語「小柴垣のもと」前半部のストーリーをグループワークや他の班への発表を通して理解する。 (グループワークの内容) ア 場面分け イ 主語と述語の把握 ウ 重要場面のイラスト化	校種・学年	高等学校・2年
	教科・領域	国語科
	アプリ・ソフト	・ロイロノート
	備考	

○本時の展開

○学習活動 (◆指導上の留意点)	
導入	○本時のめあてを確認する 「小柴垣のもと」前半部のストーリーを把握する ◆生徒たち自身で読解することを意識させる。
展開	○班ごとに4コマスライドを作成する ア 班(4人)で場面分けをして担当者を決める イ 班で主語と述語を捉えてストーリーを把握 ※細かな文法は後回し ウ 1人1枚スライドを作成 ※重要な場面をイラストにする エ それぞれのイラストをロイロノート上でつないで完成 ○他の班にスライドを使って発表 ア 各班の発表者1名が隣の班に行き、説明する ※同時に全ての班で発表が行われる ◆重要な場面がどこかを意識させる
まとめ	○本時の振り返り ◆ストーリーが把握しづらかった箇所を意識させ、次時からの読解につなげる。

育成できる情報活用能力

- ◎タブレット上で重要場面のイラストを描くことで文章を視覚的に表現できるようにする。
- ◎要点を押さえたプレゼンテーション用のスライドを素早く作成できるようにする。



育成できる情報活用能力

- ◎タブレットを使って効果的なプレゼンテーションができるようになる。

生徒の感想
<ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに4コマ漫画を活用することで内容がつかみやすい。 ・グループワークで4コマを作ることで話が入ってきやすいし楽しい。 ・隣の人との交流によって分からないところを教え合える点が良い。 ・文章の概要から入り、その後細かい文法説明があるので、わかりやすい。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・班での共同作業により物語の重要な場面をタブレット上でイラスト化することによって作品を深く理解することができる。
- ・タブレットで作成したスライド資料を活用し、視覚に訴えかける効果的なプレゼンテーションができる。